



 三菱ガス化学株式会社

The background features a blue geometric design with diagonal lines. A molecular structure is visible in the upper left, and a hand pointing at a glowing digital map of Japan is in the lower right.

2023 MGC REPORT

統合報告書

目次

価値創造 ストーリー

Page 2

経営戦略の 進捗

Page 23

ガバナンス セクション

Page 63

データ セクション

Page 78

- 3 MGC Way
- 5 価値創造プロセス
- 7 社長メッセージ
- 11 三菱ガス化学グループの歩み
- 13 競争優位性の構築
- 19 目指す創出価値
- 21 FOCUS:「Carbopath™」で目指す
社会変革
- 24 2022年度の活動ハイライト
- 25 経営戦略の変遷
- 27 経営戦略の概要
- 29 経営成績及び財務・資本政策
- 31 事業ポートフォリオ改革
- 34 マテリアリティ
- 35 マテリアリティ進捗一覧
- 37 事業展開と主な製品
- 39 機能化学品事業
- 43 基礎化学品事業
- 47 新規・次世代事業
- 49 研究開発
- 52 生産・環境
- 57 人的資本（人材・組織）
- 64 役員一覧
- 67 社外取締役座談会
- 71 コーポレート・ガバナンス
- 76 リスクマネジメント
- 77 コンプライアンス
- 79 パフォーマンスデータ
- 83 連結財務諸表
- 87 会社情報（会社概要・株式情報・拠点一覧）

編集方針

『MGCレポート 2023』は、中長期の成長戦略及び価値創造ストーリーに重点を置いた「統合報告書」として編集しています。国際統合報告評議会(IIRC)の「Integrated Reporting (IR)」や経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」を参照し、情報の結合性及び簡潔性を重視して作成しました。本レポートの制作においては、CSR・IR部を中心に、情報を集約・共有化する全社的な体制を構築しており、様々なステークホルダーの皆様に、当社グループへの理解を深めていただけるよう、掲載内容の充実に努めています。

報告期間

2022年4月1日～2023年3月31日（2022年度）

※一部、過去及び直近のデータを記載

報告範囲

三菱ガス化学株式会社及び三菱ガス化学グループ

※報告範囲が異なる場合は対象範囲を各データに記載

発行責任者

取締役 常務執行役員 北川 元康（CSR・IR担当）

発行

2023年8月

免責事項

本レポートに記載されている計画、目標などの将来に関する記述は、当連結会計年度末現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、不確実性を内包するものです。実際の業績などは、様々な要因によりこうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。



より幅広い情報は
Webサイトを
ご参照ください。

投資家情報



最新の財務情報から各種リリース資料、株式・株主情報を掲載しています。

<https://www.mgc.co.jp/ir/>

サステナビリティ情報



当社グループのCSR／ESGに対する考え方から取り組み、各種詳細なデータを紹介しています。

<https://www.mgc.co.jp/csr/>



価値創造ストーリー

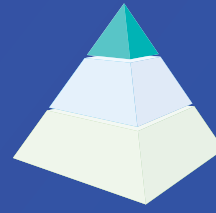
- 3 MGC Way
- 5 価値創造プロセス
- 7 社長メッセージ
- 11 三菱ガス化学グループの歩み
- 13 競争優位性の構築
- 19 目指す創出価値
- 21 FOCUS:「Carbopath™」で目指す社会変革

私たちの価値観

MGC Way



三菱ガス化学グループは、独創的な素材や技術で社会の変革に貢献する、研究開発型の化学メーカーです。産業の根幹を支える基礎化学品から、身近な暮らしに役立つ機能化学品まで、自社技術に立脚した製品群をグローバル市場に展開しています。当社グループの社会的使命(ミッション)は「社会と分かち合える価値の創造」であり、これは私たちが存在する理由でもあります。この「ミッション」の実現に向けて「バリュー(行動理念)」を体現し、「ビジョン」に掲げた特色と存在感を発揮することで、世の中から選ばれ続けるエクセレントな企業グループを目指しています。地球社会の一員として、10年先、20年先のより良い未来を展望しながら、社会課題の解決に資する新しい価値を提案していきます。



MISSION

社会と分かち合える 価値の創造

最先端の電子デバイスや通信システム、石油代替エネルギー、高度医療、食糧管理―。SDGs(持続可能な開発目標)達成の鍵を握るこれらの産業には、「素材」の進化、「材料」の技術が不可欠です。当社グループの製品群は、化学素材や材料の面から、産業・社会のイノベーションに深く関与しています。これからも常にミッションに掲げる使命を念頭に置きながら、社会変革を促す新素材と材料、及び技術を追求していきます。

三菱ガス化学グループの経営資源 (2022年度／2023年3月31日時点)



財務資本

社会的価値・経済的価値の両立を前提とした差異化戦略によって、環境変化に強い収益構造への転換に取り組んでいます。

7,812億円

連結売上高



技術基盤

時代を先駆ける技術への飽くなき探究心は、当社グループのDNA。多様な自社開発技術は競争優位の源泉です。

90%以上

自社開発技術による製品
(生産品目ベース)



企業風土

日々オープンな議論が交わされる風通しの良い企業風土。起業家精神に基づいた進取の気性も、当社ならではの特徴です。

24か国

拠点のある国数

10,293億円

総資産

約40%

世界市場トップシェア製品数の比率

75%

従業員満足度*1

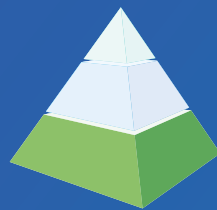
*1 従業員意識アンケート結果より。対象者は出向者を除く全社員(単体)(回答率71.9%)



VISION

化学にもとづく、 特色と存在感ある エクセレントカンパニー

あらゆる産業の“米”とも称される化学は、人々の暮らしや環境保全、社会インフラなどの分野で、無限の可能性を秘めています。当社グループは、社会の変化が加速する現代において、独自の強みを追求しながらグローバルニッチな製品群を展開。社会や顧客の課題に、他にない技術で応え続けています。「化学にもとづく、特色と存在感あるエクセレントカンパニー」というビジョンは、私たちが目指す未来のありたい姿そのものです。



VALUE

行動理念

プロフェッショナル集団として

プロフェッショナルとは、信頼できる高い知識と能力、強い責任感の持ち主のこと。一人ひとりが頼りになるプロフェッショナル集団をめざします。

1. 変化を恐れぬ勇氣

現状に甘んずることなく、新しいことに挑戦し、習慣を打ち破る勇氣を持とう。周囲の変化に応じて自分を変えるだけでなく、より良い状態に向けて、自らが環境を変えるほどの強い勇氣を持とう。

2. 高い目標への挑戦

常に自分自身により高い目標を課し、その目標に挑戦する意欲を持とう。

3. 目標達成への執念

掲げた目標を達成し、成果を上げるまでは強い執念で何があってもやり抜こう。

4. 共感を広げるコミュニケーション

互いに信頼し目的を分かち合い、ともに協力するために、コミュニケーションの輪を広げよう。

MGC企業行動指針 サステナビリティ推進指針



資源・ エネルギー

天然ガス採掘で獲得した探鉱技術を活用し、地熱発電事業を展開。2022年からバイオマス発電事業にも参画しています。

約70年

天然ガス開発事業年数



パートナーシップ

様々なパートナーと連携・協創することは、グローバルで存在感を発揮する当社グループの経営基盤強化につながります。

約59%

海外売上高比率



安全文化

「事業活動の最優先は安全の確保」という理念の下、レスポンシブル・ケア(RC)活動の更なる充実に取り組んでいます。

0.28

休業災害に係る度数率*2



約40本

カーボンニュートラル研究
プロジェクト数



147社

グループ会社数



0.004

休業災害に係る強度率*3

*2 度数率：延労働時間100万時間当たりの死傷者数

*3 強度率：延労働時間1,000時間当たりの損失日数

価値創造プロセス

当社グループは、気候変動や国際情勢、テクノロジーの高度化など、サステナビリティの観点から2050年の社会課題を見据えています。これらの長期的な社会課題と紐付けた「ターゲット領域」を設定。多様な事業を支える経営資源と、社会的価値・経済的価値の両立を前提とした差異化戦略によって新たな時代を先導する製品を開発し、各々のターゲット領域に提供していきます。このようなプロセスによって、ミッション「社会と分かち合える価値の創造」を遂行します。

差異化戦略



ご参照

MGC Way

P3-4

MGCLレポート2022 P11-16
https://www.mgc.co.jp/ir/files/MGC_Report2022.pdf

エレクトロニクス
ケミカルズ(EL薬品)



エンジニアリング
プラスチック



光学樹脂ポリマー



情報・通信

新たな時代を先導する
「アウトプット」

長期的な社会課題と
紐付けた
「ターゲット領域」



モビリティ



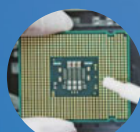
エネルギー



インフラ



医・食



半導体パッケージ用
BT材料



発泡プラスチック



メタノール



エネルギー資源・
環境事業



MXDA



脱酸素剤



MXナイロン



抗体医薬



芳香族アルデヒド

事業を通じた
社会課題の解決
「アウトカム」



ICT・モビリティ
社会発展



エネルギー・
気候変動問題解決



医療・
食糧問題解決

社会的価値と
経済的価値の
両立

☞ ご参照

社長メッセージ P7-10
競争優位性の構築 P13-18
経営戦略の概要 P27-28
マテリアリティ P34-36
人的資本(人材・組織) P57-62
社外取締役座談会 P67-70

☞ ご参照

競争優位性の構築 P13-18
2022年度の活動ハイライト P24
新規・次世代事業 P47-48
研究開発 P49-51

☞ ご参照

三菱ガス化学グループの歩み P11-12
事業展開と主な製品 P37-38
機能化学品事業 P39-42
基礎化学品事業 P43-46

☞ ご参照

目指す創出価値 P19-20
FOCUS:「Carbopath™」で
目指す社会変革 P21-22